

スズメノカタビラに勝つ。 高品質・高収量の小麦に。



春播き小麦に
適用拡大

小麦用除草剤

キタシーブ®

フロアブル

後作物への影響

水稲、大麦、ソルガムに薬害を生じるおそれがあるため、散布した当年または翌年の栽培をさけてください。
また、春播き小麦収穫後のイネ科後作緑肥の栽培は避けてください。

水稲、大麦、ソルガムの輪作可否

春播き小麦にキタシーブを使用した場合

当年	×	翌年	×	翌々年	○
----	---	----	---	-----	---

秋播き小麦にキタシーブを使用した場合

翌年	×	翌々年	○
----	---	-----	---

自然に学び自然を守る



キタシーブ® フロアブル

有効成分：ジフルフェニカン……………7.4%
ピロキサスルホン……………7.4%
人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

スズメノカタビラに 勝つ!

繁茂すると小麦に大きな減収を引き起こすスズメノカタビラ。キタシーブフロアブルはスズメノカタビラをしっかり除草します。

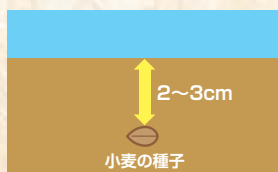


他にも厄介な雑草に効果あり!



上手な使い方

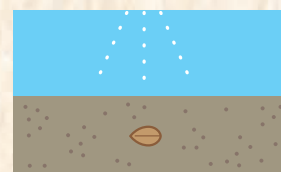
砕土や整地はていねいに、
覆土深は2~3cmに



散布後に強い降雨が予想
される場合は使用をさける

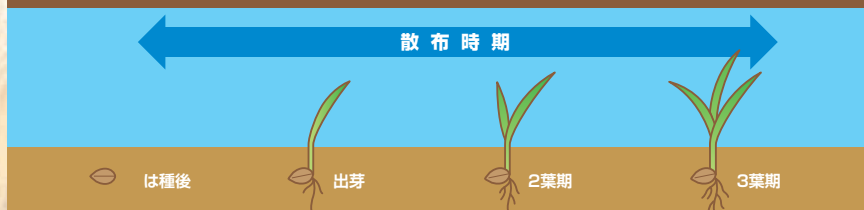


砂質土壌など水はけのよい畑では
登録の範囲で少なめの薬量を散布



※薬害が心配される場合は麦出芽揃い以降(3葉期まで)の散布をおすすめします

小麦の生長ステージと散布時期



適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法
小麦	一年生雑草	は種後~小麦3葉期 (雑草発生前~発生始期)	80~100mℓ	100ℓ/10a	1回*	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布

*各有効成分を含む農薬の総使用回数：ジフルフェニカン1回、ピロキサスルホン1回

⚠ 使用上の注意 (抜粋)

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にして使用してください。また、希釈の際は所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- 雑草の発生前から発生始期まで有効なので、時期を失しないように散布してください。
- 砂土では使用しないでください。
- 土壌残効が長いので、秋播栽培で使用する場合は、年内中に散布を終えてください。
- 散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、激しい降雨の予想される場合は使用をさけてください。
- 土壌が極端に乾燥している場合には除草効果が劣ることがありますので、土壌が適度の水分を含んでいるときに使用してください。
- 有機物の多い土壌や粘土質の土壌では所定量の範囲内で多めの薬量を散布してください。
- 砂質で水はけのよい畑では薬害を生じるおそれがあるので、所定量の範囲内で少なめの薬量を散布してください。
- 水田裏作の小麦に使用する場合、排水不良田等土壌が湿りすぎていると砕土や覆土が不十分となり効果むらや薬害の原因となることがありますので、過湿状態での使用はさけてください。
- 砕土や整地はていねいに行い、種子が露出しないよう覆土はできるだけ均一、覆土深を2~3cmとってください。
- 本剤の使用により小麦の葉身に白化が見られることがありますが、その後出てくる葉には白化は認められず回復し、小麦の生育、収量には影響が認められていません。
- 散布薬液の飛散によって有用植物に薬害を生じるおそれがあるので、散布の際には隣接作物にからないように注意してください。特に風の強い時の使用はさけてください。

- 水稲、大麦、ソルガムに薬害を生じるおそれがあるため、散布した当年または翌年の栽培をさけてください。
- 散布に使った器具類はよく水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いしてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 魚毒性等…水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

本資料は2024年2月現在の知見に基づき作成しています。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ● 除草日誌を記載しましょう。



自然に学び 自然を守る 2322(24-2)

クミアイ化学工業株式会社

本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>